



進学も就職も邑久高校へ！

第1回オープンスクール



吹奏楽部 歓迎演奏

7月28日(水)、瀬戸内市中央公民館・邑久高校を会場に、第1回オープンスクールを開催しました。当日は猛暑の中、中学2・3年生、保護者あわせて237名の皆様にご来校いただきました。

吹奏楽部による歓迎演奏から始まり、生徒会執行部による学校説明、体験授業(中学3年生)、スクールツアー(中学2年生)、部活動見学などがありました。本校の在校生も、新型コロナ感染予防対策を行いながら、受付や会場の誘導などを行いました。

第2回オープンスクールは、9月25日(土)に実施予定です。(9月25日に実施できない場合は、10月23日に延期いたします。)



受付の様子



体験授業



部活動見学

美術の体験授業「実技基礎体験講座」



7月3日(土)、中学生を対象として、美術の体験授業「実技基礎体験講座」を開催しました。絵を描くことが好きな中学生11名が参加し、デッサンや着彩の体験をしました。当日は、卒業生の森本さん(伊里中出身、倉敷芸術科学大学1年)、坂口さん(邑久中出身、中国デザイン専門学校1年)がアシスタントとして参加し、中学生に実技のアドバイスや邑久高校での学習についての説明をしてくれました。邑久高校の普通科では、「美術重視モデル」を選択すると、2年生から、素描、絵画などの専門の授業を学習することができます。

今回の内容と同様の講座を10月23日(土)に開催しますので、絵やデザインに興味がある中学生の皆さん、是非ご参加ください。詳しくはホームページをご覧ください。

全国大会

全国高校ボウリングで村上さん大活躍！

7月29日(木)30日(金)の2日間、富山県富山市でボウリングの全国高校選抜選手権東海北信越大会(全国高校ボウリング)が行われ、生活ビジネス科、2年生の村上夢実さん(長船中出身)が岡山県の代表として出場しました。

結果は、団体戦で総合2位(準優勝)、個人戦では6位、団体と個人の合計得点で競う個人総合で総合5位という優秀な成績をおさめました。全国各地から集まった選手による大会で、3年生に混ざってこのような優秀な成績をおさめることができたのは、日頃から大変な努力を重ねてきた結果だと思えます。これからの活躍も期待しています。



看護出前講座で、血圧測定などを体験

7月21日(水)、瀬戸内市民病院から3名の看護師を講師にお招きし、看護出前講座を行いました。看護系の進路を目指す1年生から3年生までの生徒が参加し、看護師の仕事や看護師になるための学校についての説明や、看護師になってよかったことなど体験談を交えて話していただきました。また、看護体験として加圧式の血圧計で実際に血圧を測ってみたい、聴診器で自分の心音を聞いたりしました。普段使いできない器具にとまどいつつ、どの生徒も真剣な表情で取り組んでいました。



第1回セトリー運営指導委員会

7月14日(水)、第1回セトリー運営指導委員会を開催しました。委員の方々に本校の地域学(セトリー)の取組についての説明後、2年生普通科の3グループ(観光・活性化グループ、医療・看護グループ、自然科学グループ)と生活ビジネス科情報ビジネスコースの活動の様子を実際に見ていただき、生徒に質問やアドバイスをさせていただきました。



観光・活性化グループ

医療・看護グループ

自然科学グループ

情報ビジネスコース

委員の方々からは、「前向きに関心を持って取り組んでいる。」「時間をかけて体験や学習する中で、この1年の変容を報告してほしい。」「取組の先の活用について目的意識を持って計画的に考えてほしい。」といった御助言がありました。今後も探究活動を進め、1月の実践報告会で発表する予定です。

3年生観光・活性化グループの集大成 モニターツアー

地域学(セトリー)で、「観光」の面から地域活性化に取り組んできた3年生の活動の集大成として、8月2日(月)に本校の普通科1年生とともにモニターツアーを実施しました。

セトリーの活動の中で、「瀬戸内市の魅力とは」「瀬戸内市に若者を呼び込むには」をテーマに取り組んできた3年生のメンバーは、すべての研究成果をこのツアーに注ぎました。長島愛生園をはじめ、市内の企業や商店、カフェを取材したり、各方面の方に講話を頂いたり、様々な研究活動をしてきました。多くの人との出会いによって、生徒たちの視野が広がり、成長できたという実感を持っています。これまでご協力いただいたすべての方に感謝申し上げます。今後はこのツアーを振り返り、瀬戸内市などに教育旅行のモデルプランとして提案する予定です。



株式会社 大町での様子



長島愛生園での様子

1年普通科 SDGsカードゲームX(クロス)瀬戸内市版制作が始動

8月17日(火)、環境学習センター「アスエコ」より柏原拓史さんを講師にお招きして、普通科1年生がSDGsカードゲームX(クロス)を体験しました。普通科1年生は、今後、カードゲームクロス瀬戸内市版を制作し、本校の生徒が小中学校で出前授業を行い、瀬戸内市の課題解決アイデアを考えていく予定です。

柏原さんからは、SDGsという世界が決めた共通の目標についてや、カードゲームクロスについて説明していただきました。生徒は実際にカードゲームクロス岡山県版をグループに分かれて取り組みました。「このカードゲームクロスを使うことで、発想力を高めることができると思った。」「瀬戸内市から全国へ発信して社会を変えられたらいい、まずは小中学生にわかりやすく伝えられるカードを作るこのチャレンジを成功させたい。」とたいへん前向きな感想が聞かれました。

